

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	北海道	地区名	南美原地区
-----	----------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	6,397,061	
年総効果額	②	405,195	
廃用損失額	③	142,542	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	32	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0581	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	6,831,554	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.06	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	96,358	用水路及び関連事業で整備される排水路による単収の増加 対象作物：水稻、小麦、小豆、ばれいしょ、たまねぎ、にんじん
営農経費節減効果	186,379	ほ場条件改善による労働の省力化、機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、小豆、ばれいしょ、たまねぎ、にんじん
維持管理費節減効果	29,377	当該事業及び関連事業で整備が行われる農業施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
更新効果	93,081	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計	405,195	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農地整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成11年）「南美原地区土地改良事業計画変更書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	本郷地区
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	3,681,655	
年総効果額	②	193,030	
廃用損失額	③	70,185	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	45	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0498	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	3,805,919	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.03	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	16,505	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小豆、ばれいしょ、スイートコーン、メロン、ブロッコリー
品質向上効果	1,946	農道舗装による砂塵被害解消及び輸送作物の荷痛み防止 対象作物：水稲、小豆、ばれいしょ、スイートコーン、メロン、ブロッコリー
営農経費節減効果	104,687	ほ場の排水性改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小豆、ばれいしょ、スイートコーン、メロン、ブロッコリー
維持管理費節減効果	21,248	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	5,701	農道整備による車両の大型化や走行時間の短縮 対象作物：水稲、小豆、ばれいしょ、スイートコーン、メロン、ブロッコリー
更新効果	42,943	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
計	193,030	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農地整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成15年）「本郷地区土地改良事業変更計画書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	西丹羽地区
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	2,353,045	
年総効果額	②	163,937	
廃用損失額	③	—	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	39	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0527	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	3,110,759	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.32	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	21,795	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、ばれいしょ、小豆、メロン、かぼちゃ
品質向上効果	1,033	農道舗装による砂塵被害解消及び輸送作物の荷痛み防止 対象作物：水稲、小麦、ばれいしょ、小豆、メロン
営農経費節減効果	88,909	ほ場の排水性改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、ばれいしょ、小豆、メロン、かぼちゃ
維持管理費節減効果	6,627	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	604	農道整備による車両の大型化や走行時間の短縮 対象作物：水稲、小麦、ばれいしょ、小豆、メロン、かぼちゃ
更新効果	44,969	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
計	163,937	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農地整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成14年）「西丹羽地区土地改良事業変更計画書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	納内西地区
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	2,079,095	
年総効果額	②	122,483	
廃用損失額	③	22,914	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	36	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0546	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	2,220,364	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.06	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	19,538	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、小豆、ばれいしょ、てんさい、はくさい、メロン
品質向上効果	6,229	農道舗装による砂塵被害解消及び輸送作物の荷痛み防止 対象作物：水稲、小麦、小豆、ばれいしょ、てんさい、はくさい、メロン
営農経費節減効果	50,148	ほ場の排水性改善や大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、小豆、ばれいしょ、てんさい、はくさい、メロン
維持管理費節減効果	14,970	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	15,853	農道整備による車両の大型化や走行時間の短縮 対象作物：水稲、小麦、小豆、ばれいしょ、てんさい、はくさい、メロン
更新効果	12,527	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
一般交通等経費節減効果	3,218	農道整備による一般車両の走行時間の短縮
計	122,483	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農地整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成14年）「納内西地区土地改良事業変更計画書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	南扇山地区
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	1,589,893	
年総効果額	②	105,070	
廃用損失額	③	211,708	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	40	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0522	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	1,801,319	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.13	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	△7,419	水田の用水改良による単収の増加 対象作物：水稻、にんじん、メロン
営農経費節減効果	3,233	ほ場の用水改良による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻
維持管理費節減効果	33,299	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
更新効果	74,747	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
安全性向上効果	1,210	老朽化した施設の更新において安全性を確保するための投資額 対象施設：用水路
計	105,070	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農地整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成11年）「南扇山地区土地改良事業計画書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	訓子府東地区
-----	-----------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	5,973,897	
年総効果額	②	660,848	
廃用損失額	③	0	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	35	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0546	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	12,103,443	
投資効率	⑦=⑥÷①	2.02	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	383,698	排水路、農道、暗きょ排水、土層改良の整備による単収の増加 対象作物：水稻、小麦、菜豆、てんさい、ばれいしょ、たまねぎ、スイートコーン、牧草、青刈りとうもろこし
品質向上効果	6,025	農道舗装による砂塵被害解消や輸送作物の荷傷みの防止 対象作物：水稻、小麦、菜豆、てんさい、ばれいしょ、たまねぎ、スイートコーン、牧草、青刈りとうもろこし
営農経費節減効果	202,079	ほ場条件改善による労働の省力化、機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、菜豆、てんさい、ばれいしょ、たまねぎ、スイートコーン、牧草、青刈りとうもろこし
維持管理費節減効果	7,318	農業施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	29,033	農道の改良による運搬車輛の大型化や走行時間の短縮による輸送経費の節減 対象施設：農道

項目	年効果額	効果の要因
更新効果	5,679	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、農道
一般交通経費節減効果	27,016	道路改良による一般交通にかかる経費の節減 対象施設：農道
計	660,848	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農地整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成14年）「訓子府東地区土地改良事業計画変更書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	士幌南地区
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	9,742,103	
年総効果額	②	678,431	
廃用損失額	③	6,823	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	38	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0533	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	12,721,714	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.30	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	165,107	排水路、農道、暗きょ排水、土層改良の整備による単収の増加 対象作物：小麦、いんげん、てんさい、ばれいしょ、牧草、青刈りとうもろこし
品質向上効果	12,940	農道舗装による砂塵被害解消や輸送作物の荷傷みの防止 対象作物：小麦、いんげん、てんさい、ばれいしょ、牧草、青刈りとうもろこし
営農経費節減効果	144,531	ほ場条件改善による労働の省力化、機械経費の節減 対象作物：小麦、いんげん、てんさい、ばれいしょ、牧草、青刈りとうもろこし
維持管理費節減効果	48,059	農業施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	113,671	農道の改良による運搬車輛の大型化や走行時間の短縮による輸送経費の節減 対象施設：農道

項目	年効果額	効果の要因
更新効果	75,746	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、農道
一般交通経費節減効果	104,707	道路改良による一般交通にかかる経費の節減 対象施設：農道
安全性向上効果	1,249	排水路の改良による安全施設設置により安全性が確保される効果 対象施設：排水路
水辺環境整備効果	12,421	排水路の改良による環境に配慮した整備により環境が保全される効果 対象施設：排水路
計	678,431	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農地整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成16年）「士幌南地区土地改良事業計画変更書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農村総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	麻布地区
-----	----------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	1,580,353	
年総効果額	②	108,574	
廃用損失額	③	—	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	57	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0476	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	2,280,966	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.44	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	24,891	農業用排水施設、ほ場整備の整備による単収の増加 対象作物：水稻、大豆、小豆、かぼちゃ、大根等
営農経費節減効果	79,219	関連ほ場整備事業等による労働の省力化、機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、小豆、かぼちゃ、大根等
維持管理費節減効果	3,152	用排水施設の整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路
更新効果	1,312	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
計	108,574	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農村整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成14年）「麻布地区土地改良事業計画変更書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農村振興総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	夕張太西地区
-----	------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	1,674,346	
年総効果額	②	170,006	
廃用損失額	③	8,101	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	33	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0568	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	2,984,962	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.78	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	29,415	農業用排水施設、ほ場整備の整備による単収の増加 対象作物：水稻、キャベツ、玉ねぎ、小麦、大豆等
品質向上効果	1,655	農道の整備による防塵・荷傷の防止 対象作物：水稻、キャベツ、玉ねぎ、小麦、大豆等
営農経費節減効果	86,137	関連ほ場整備事業等による労働の省力化、機械経費の節減 対象作物：水稻、キャベツ、玉ねぎ、小麦、大豆等
維持管理費節減効果	36,276	各施設の整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	12,249	農道の整備による営農に係る走行経費の節減 対象施設：農道
更新効果	4,263	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、農道
計	170,006	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農村整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成16年）「夕張太西地区土地改良事業計画変更書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	栗東地区
-----	-----------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	1,321,473	
年総効果額	②	127,861	
廃用損失額	③	25,300	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	33	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0568	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	2,225,773	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.68	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	56,018	農業用用水施設、ほ場整備、暗渠排水、客土の整備による単収の増加 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、小豆、人参等
営農経費節減効果	61,400	関連ほ場整備事業等による労働の省力化、機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、小豆、人参等
維持管理費節減効果	3,845	各施設の整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、ほ場内施設（排水、耕作道）
更新効果	6,958	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、ほ場内施設（排水、耕作道）
計	127,861	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農村整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成13年）「道営中山間地域総合整備事業（生産基盤型）栗東地区計画変更書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	蘭越こぶしの郷地区
-----	-----------	-------	-----	-----	-----------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	1,195,912	
年総効果額	②	78,916	
廃用損失額	③	—	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	39	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0526	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥=②÷⑤-③	1,500,304	
投資効率	⑦=⑥÷①	1.25	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	37,570	農業用排水施設、ほ場整備、暗渠排水、客土の整備による単収の増加 対象作物：水稻、馬鈴薯、てん菜、小豆、メロン等
営農経費節減効果	28,068	関連ほ場整備事業等による労働の省力化、機械経費の節減 対象作物：水稻、馬鈴薯、てん菜、小豆、メロン等
維持管理費節減効果	6,268	各施設の整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路
更新効果	7,073	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
計	78,916	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課及び農村整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成14年）「道営中山間地域総合整備事業（一般型）蘭越こぶしの郷地区計画変更書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農地防災事業（中山間総合）	都道府県名	北海道	地区名	木ノ子地区
-----	---------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

（単位：千円）

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	1,412,065	
年総効果額	②	96,897	
廃用損失額	③	—	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	25	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	0.0673	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥＝②÷⑤－③	1,439,777	
投資効率	⑦＝⑥÷①	1.01	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	12,882	溢水、土砂崩壊の発生で減収が生じていた農作物の被害を防止 対象作物：水稻、馬鈴薯、スイートコーン、かぶ
維持管理費節減効果	14,550	排水施設、土留工の整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水施設、土留工
災害防止効果	43,069	機能低下した施設の整備により、災害の発生による農用地、農業用施設の被害を防止する効果 対象施設：排水施設
更新効果	11,253	旧施設の機能が衰退、喪失することなく継続して発揮する効果 対象施設：排水施設
水辺環境整備効果	15,143	動植物の生息に配慮した整備を行うことにより、豊かな生態系が保全される効果 対象施設：排水施設
計	96,897	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成9年）「木ノ子地区土地改良事業計画書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村整備課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農地防災事業（防災ダム）	都道府県名	北海道	地区名	六線沢地区
-----	--------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

（単位：千円）

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	1,740,939	
年総効果額	②	96,156	
廃用損失額	③	14,095	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	80	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	0.0447	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥＝②÷⑤－③	2,137,046	
投資効率	⑦＝⑥÷①	1.22	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

項目	年効果額	効果の要因
災害防止効果	78,597	ため池施設の整備で決壊を予防し、洪水による被害を防止する効果 対象：農地、農作物、農業用施設、道路等
維持管理費節減効果	250	ため池施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：ため池施設
更新効果	17,502	旧施設の機能が衰退、喪失することなく継続して発揮する効果 対象施設：ため池施設
計	96,156	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成7年）「六線沢地区土地改良事業計画書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村整備課調べ（平成22年）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農地保全整備事業	都道府県名	北海道	地区名	芙蓉地区
-----	----------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総事業費	①	1,480,357	
年総効果額	②	131,566	
廃用損失額	③	—	廃用する施設の残存価値
総合耐用年数	④	38	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0542	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	2,427,426	
費用便益比	⑦=⑥÷①	1.63	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	69,563	排水施設の整備による単収の増加 対象作物：馬鈴薯、てん菜、小豆、小麦、にんじん
品質向上効果	1,939	農道の整備による防塵・荷傷の防止 対象作物：馬鈴薯、てん菜、小豆、小麦、にんじん
営農経費節減効果	38,133	関連排水施設による労力、機械経費の節減 対象作物：馬鈴薯、てん菜、小豆、小麦、にんじん
維持管理費節減効果	2,102	排水施設、農道の整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	3,551	農道の整備による営農に係る走行経費の節減 対象施設：農道
更新効果	16,279	旧施設の機能が衰退、喪失することなく継続して発揮する効果 対象施設：排水路、農道
計	131,566	

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村整備課調べ（平成22年）

【便益】

- ・北海道（平成8年）「芙蓉地区土地改良事業計画書」
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（一部改正：平成22年3月31日農林水産省農村振興局整備部長通知））
- ・効果算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村整備課調べ（平成22年）